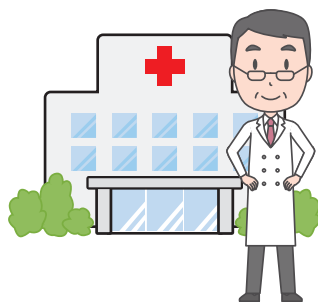


結核を早期発見・早期治療するために

1 疑わしければすぐ受診

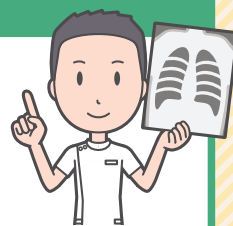
日常の健康状態を把握し、体調の変化に早く気付くことが大切です。
2週間以上続く「せき」や「たん」、発熱、食欲低下、体重減少などがある場合は医療機関で胸部エックス線検査、たんの検査を受けましょう。

※コントロール不良の糖尿病など慢性疾患患者、ステロイド剤や抗がん剤などの使用、体力低下、栄養不良などのある方で、結核を疑う症状がある場合は早めに受診しましょう。



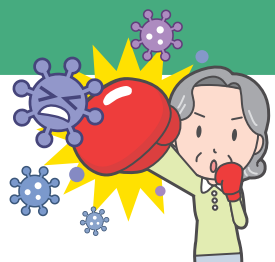
2 年1回、胸部エックス線検査を受けましょう

かかりつけ医や結核健診などで年1回、胸部エックス線検査を受けることが大切です。
昔に結核にかかったことがある人も多いので、前回までの胸部エックス線検査と必ず比較しましょう。

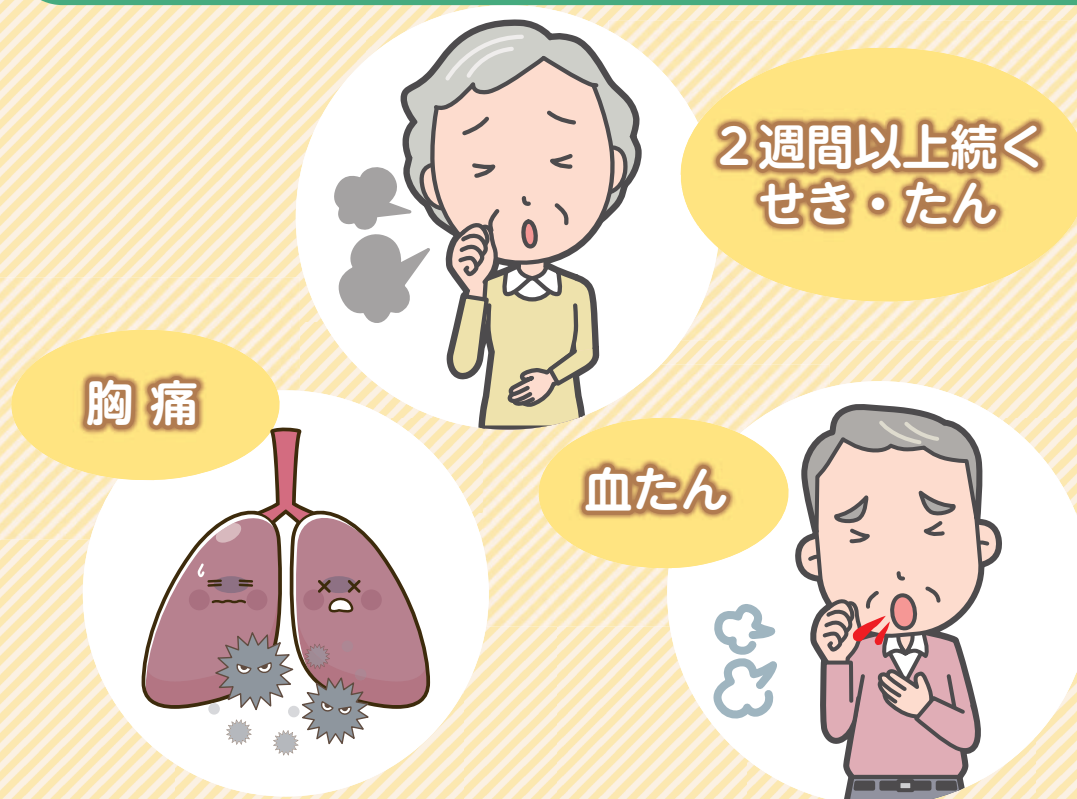


3 健康管理で結核予防

免疫力を高め、結核菌に負けないからだを作りましょう。
日頃から「バランスのとれた食事」「睡眠」「適度な運動」「禁煙」を心がけ、免疫力を落とさないことが大切です。

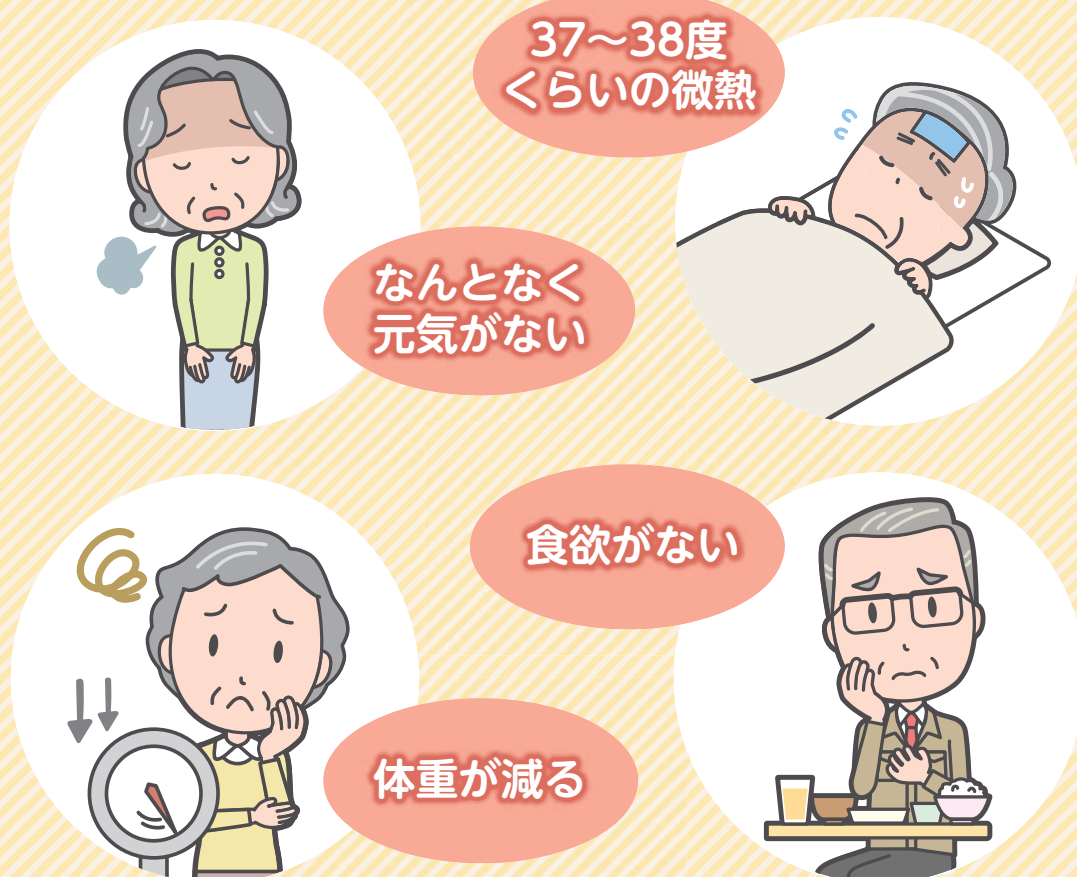


次のような症状が続くときは「結核かも!？」



！高齢者は下記の症状にも注意しましょう！

高齢者の結核は「せき」や「たん」などの呼吸器症状が現れにくい場合があります。
下記の症状にも注目し、いつもと体調が違えば、医療機関で胸部エックス線検査、たんの検査を受けましょう。



「結核かも!？」

高齢者の結核に注意！ 70歳以上の割合が増えています

大阪市結核健診のご案内 予約不要 無料

保健福祉センターでは、学校や職場で健診機会のない15歳以上の方々に、胸部エックス線撮影による結核健診を無料で行っています。ぜひご利用ください。

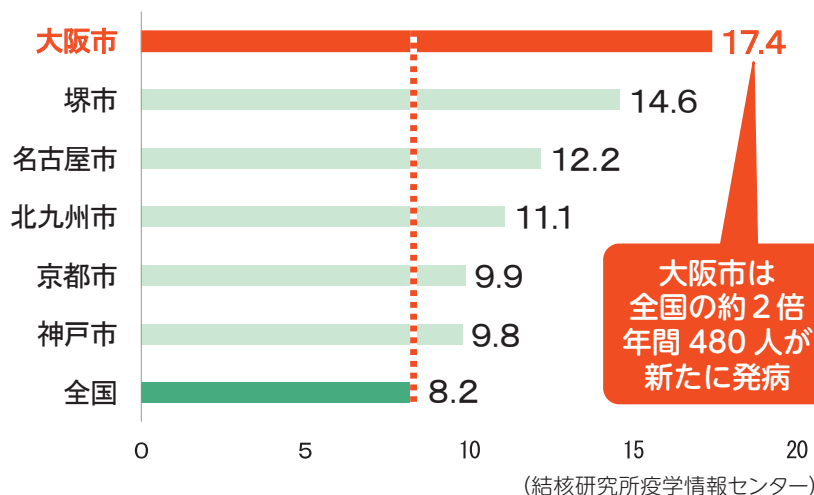
※65歳以上の方は年1回の結核健診を受けることが義務付けられています。

問合せ先

保健福祉センター	電話番号	保健福祉センター	電話番号	保健福祉センター	電話番号
北区	6313-9882	天王寺区	6774-9882	城東区	6930-9882
都島区	6882-9882	浪速区	6647-9882	鶴見区	6915-9882
福島区	6464-9882	西淀川区	6478-9882	阿倍野区	6622-9882
此花区	6466-9882	淀川区	6308-9882	住之江区	6682-9882
中央区	6267-9882	東淀川区	4809-9882	住吉区	6694-9882
西区	6532-9882	東成区	6977-9882	東住吉区	4399-9882
港区	6576-9882	生野区	6715-9882	平野区	4302-9882
大正区	4394-9882	旭区	6957-9882	西成区	6659-9969

結核は過去の病気ではありません！

結核り患率 都市比較(令和4年)



現在も全国で年間10,235人が新たに結核と診断されています。今でも毎日28人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている日本の重大な感染症です。

大阪市の結核り患率※は、都道府県・政令指定都市でワースト1です。

※結核り患率：新たに結核患者として登録された人の割合（人口10万対）

どうやって感染するの？

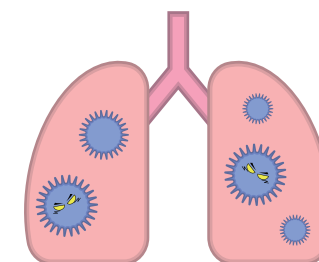
感染経路は「空気感染」

結核菌は患者のせきやくしゃみでばらまかれる「しぶき」に含まれて広がります。「しぶき」(飛沫)の水分が蒸発して、結核菌が裸の状態(飛沫核)になると、長時間空気中をただよい、その結核菌を吸い込むことによって感染します。

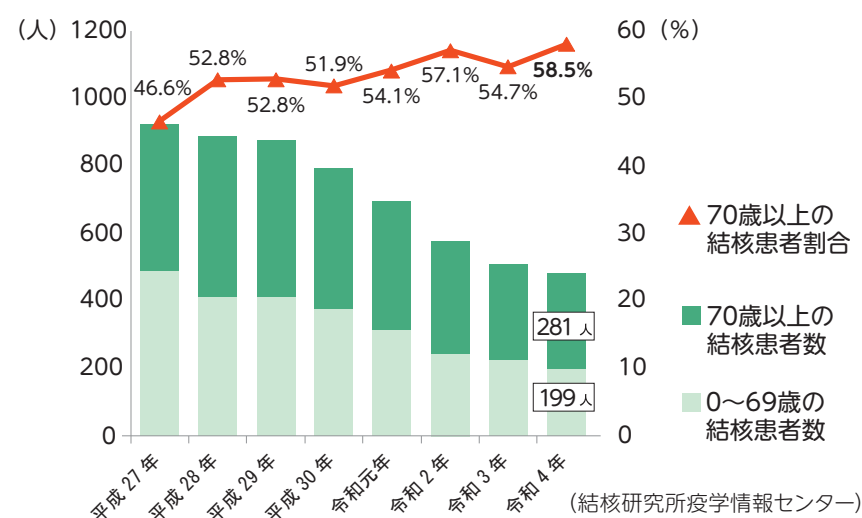


結核の感染と発病

結核は感染しても必ず発病するわけではなく、免疫力の働きで結核菌の活動がおさえられていると発病しません。結核の発病は、不規則な生活や加齢、病気などで免疫力が低下し、結核菌が肺の中で増殖することで、その場所に炎症が起こり、せきや発熱を引き起こします。



結核は高齢者で多い!?



昭和初期は結核が流行していたため、過去に結核に感染していた高齢者が多くいます。結核菌を肺の中に抱えたまま、若いうちは無症状で経過し、長い潜伏期間を経て、高齢となった際に発病することが多いです。

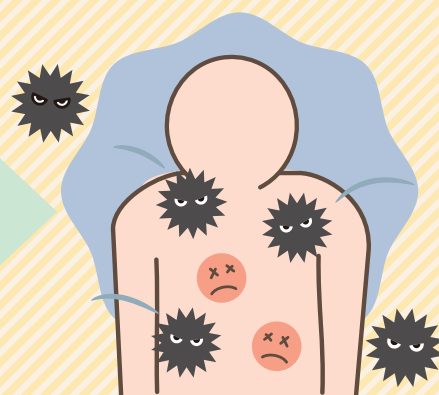
大阪市の結核患者の2人に1人が70歳以上です。

免疫力が低下すると結核の発病リスクが高まります

【身体の免疫力低下を起こす病気や要因】



- ・糖尿病 (特にHbA1c 6.5%以上)
- ・人工透析
- ・免疫を抑制する薬 (ステロイド剤や抗がん剤など) の使用
- ・胃の手術後・臓器移植・HIV感染
- ・体力低下・栄養不良 など



結核 感染

結核 発病

発病の有無は胸のレントゲン検査、たんの検査等でわかります

発見が遅れると...

人にうつさない結核

(たんの中に結核菌が出ない)

➡ 通院治療

人にうつす結核

(たんの中に結核菌が出る)

➡ 入院治療

発病したらどうなるの？

結核と診断されても、必要な期間、毎日きちんと薬を飲めば治ります。しかし、症状が消えたからといって、治療途中で服薬をやめしまうと治りません。それどころか、菌は抵抗力をつけ、薬が効かない耐性菌になることがあります。そのため、治療終了まで毎日服薬することが大切です。

人にうつす可能性がなくなれば退院

➡ 通院治療

